

きずな通心

平成23年8月
第13号

発行：千倉地域づくり協議会『きずな』

TEL：0470-40-0540

企画編集：千倉担当地域づくり支援員

FAX：0470-40-1013

〒295-8601 南房総市千倉町瀬戸2294番地（南房総市千倉支所内）

メールアドレス：chikura@royal.ocn.ne.jp



「協働通心 ちくらだより」の名称が、「きずな通心」に変わりました。これからもよろしくお願ひします。

各部会の動き！

きずなの会

誰もがあいさつのできる町づくりを進めています。「自分たちからまず始めよう」ということで、小学生の登校時にあいさつ活動を行うため、区長さんや学校の意見を聞きながら準備を進めています。

また、「先人に学ぶ講演会（仮題）」を開催したいと考えています。

豊山海（ほうさんかい）

山グループ：川戸区のおんだら山の活動に参加する。

海グループ：ビーチクリーン活動を継続して行う。津波を想定した避難訓練について助け合いの仕組み作りを考える。

知り隊グループ：地元出身の彫刻師や古道、民俗、祭りなどの調査を行う。



千倉港・海の里づくりの会

7月18日（海の日）に開催した千倉海の里まつりは、いかがでしたか？

定期的に続けていきたいと考えています。今後も多くの人が、楽しく参加できる活動を企画していきます。



千葉県漁業調査船ふさみ丸

高家学ぼう会

10/17（月）11/23（勤労感謝の日）に予定されている庖丁式の祭典をもっと楽しく充実したものにするため自分たちでできることを話し合っています。

コラボレーションできるイベントや「食」に結びつけて料理講習会を開催、特産品の開発などいろいろなアイデアが出ています。

切り取り線

『きずな』では、仲間を募集しています！

『ちくらに住んで良かった』と思える地域づくりと一緒に考え、活動しませんか。どなたでも参加できます。希望する活動グループへの入会申し込み、お問い合わせは、千倉支所内『きずな』事務局までお願いします。TEL 40-0540

平成 年 月 日

千倉地域づくり協議会『きずな』正会員入会申込書

千倉地域づくり協議会『きずな』

会長 星 正芳 様

私は、協議会の目的に賛同し、正会員として入会します。

| | | | |
|----------------------|---|------|--|
| フリガナ | | | |
| 氏名 | | | |
| 性別 | 男・女 | 生年月日 | |
| 住所 | (〒 -) 南房総市千倉町 | | |
| 自宅TEL | | | |
| 携帯 | | | |
| E-Mail | | | |
| 参加部会 (複数可) | (○をお付け下さい。) 1. きずなの会 2. 豊山海 3. 千倉港・海の里づくりの会 4. 高家学ぼう会 5. 未定 | | |
| ご意見等(どんな活動に興味があるかなど) | | | |

南千倉海岸の美化活動のお知らせ！

一緒に海岸の美化活動をしませんか

日時：9月18日（日）9時開始（30分程度）

場所：南千倉海岸 千倉教習所下 海側駐車場に集合

※ゴミ袋は用意します。手袋や飲み物は各自でご用意下さい。



千倉の文化財紹介 (3)

後藤利兵衛橋義光 (1815～1902)

南房総市千倉町北朝夷に大工の子として生まれる。23歳の時、日本橋の彫刻師後藤三次郎恒俊の弟子となり業を修め、幕末より明治にかけて安房地方の寺社の欄間をはじめ、向拝(注1)その他神輿屋台等数々の彫刻を施しています。

◎ 八幡神社・・・南房総市千倉町寺庭

本殿左右妻側竜・丸彫 初代作 (注2)



◎ 住吉寺・・・南房総市千倉町南朝夷

中嶋観音堂向拝竜・木鼻 初代70歳作 (注3)



◎ 稲荷神社・・・南房総市千倉町平館

向拝竜・木鼻・頭貫 初代作 (注4)



注1 向拝(こうはい)本殿や客殿で屋根の一部が前方に突出し、拝礼の場所となっているところ。
注2 妻側(つまがわ)勾配屋根のかけられた建物の棟に直角方向に平行材が渡される両側面のこと。
注3 木鼻(きはな)木の端を意味する複数の次柱と横に貫抜している柱(頭貫)や虹梁等の端に付けられた彫刻
注4 頭貫(かしらぬき)柱の上部をつなぐ貫き

千倉ウォーキングコースの紹介 (3)

参考文献：千倉町史

歴史と芸術文化にふれてみませんか

今回JR千倉から総合運動公園—海岸美術館や神社仏閣(後藤義光の彫刻)を巡るコースを紹介します。

名づけて、歴史と芸術文化にふれるコース(約8km)



JR 千倉駅



千倉総合運動公園



海岸美術館

柏尾堰



西養寺

市民が、余暇を利用して自然に親しみながら休養、健康の増進を図る目的でつくられた施設で、グループや家族など誰でも気楽に利用できます。造成工事の際に出土した岩石に、自衛隊の工事の様子を彫刻したモニュメントが建てられています。

千倉の海をこよなく愛する写真家浅井慎平さんの作品を展示した美術館です。建物と周辺の景色も含めてアートスペースになっています。

八幡神社



後藤義光の彫刻があります。建物の正面にも妻側にも見事な彫刻が施されています。

西養寺は、八幡神社の別当寺で、山号を八幡山といいます。寺には、魚籃観音を安置する観音堂があります。観音菩薩は、衆生済度のためには、時に応じ三十三に身を変じます。この魚籃観音は女人の姿をしており、右手に魚籠、左手に天衣を持って、蓮の船に乗っておられる像です。
名工後藤義光の彫刻および墓があります。

高家神社



日本で唯一の料理の神様を祀る神社です。庖丁式のルーツは平安時代と言われ、日本料理の伝統を今に伝えています。

住吉寺



東仙寺



円蔵院



千倉の名産品として知られている鯉節には、ある男の物語があります。その男の名は、「土佐与一」。与一は、1758年紀州生まれ。30歳頃から港町を転々とし、その後千倉町にやってきました。当時、江戸の鯉節市場を独占していたのは、土佐と紀州の鯉節。その製造方法は門外不出の秘法とされていました。与一は、その秘法を伝授してしまったのです。千倉の鯉節は、安房節と呼ばれ江戸で人気を博し、生産高では土佐をしのぐ程になりました。その為与一は、故郷の土佐に帰ることができず、千倉で生涯を終えました。

与一の墓は東仙寺に建てられ、与一の功労をたたえた「土佐与一の碑」が住吉寺に建てられています。

安房三巨利の一宇として、府中の宝珠院の次席に位置し、末寺五三寺を傘下におさめていました。一説によると元禄の大地震・大津波によって被害を受け現在地に移転したとも伝えられています。

商工会青年部主催

あらがの音楽祭

灯籠の灯りが照らす神秘的な中で夕涼みをしながら音楽を聴きませんか♪

9月3日(土)

16:00~20:30

高家神社特設ステージ

入場無料

ぜひお越し下さい

出演
朝夷小・忽戸小・七浦小の子供たち
館山航空基地上層会
Awa b's
中村 牧子
SHARE
Mei 他

縁日広場も
やってるよ!!

